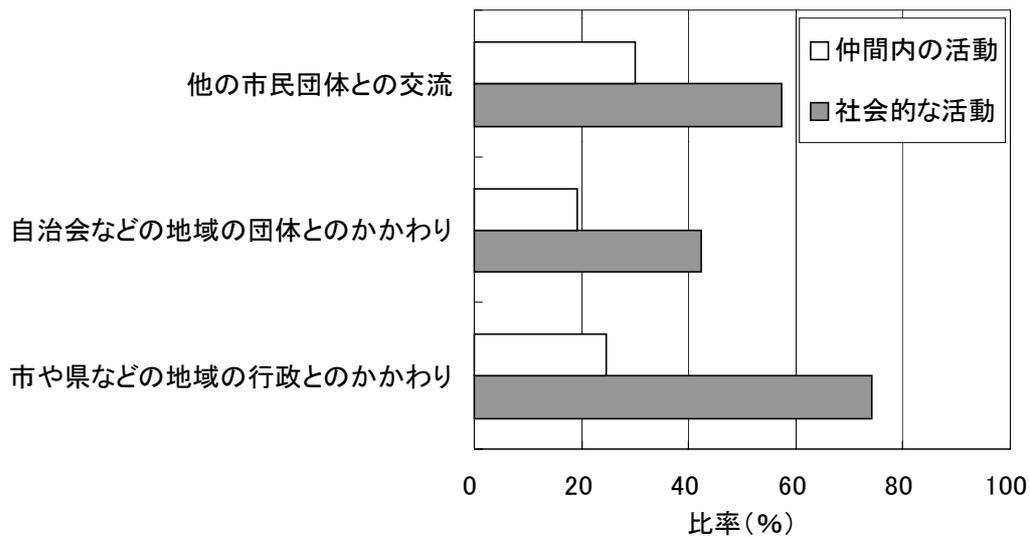


市民活動団体実態調査 テーマ別まとめ（その3）

テーマ 各主体ごとの関係整理

他の団体との関わりの状況

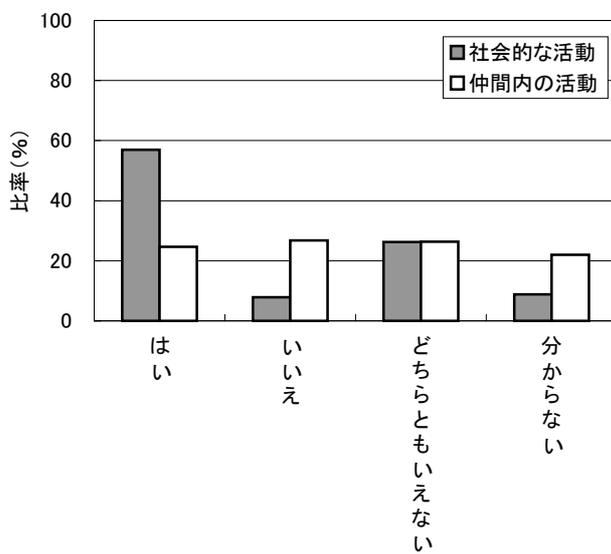
- ・ 社会的な活動を行う団体では、「市や県などの地域の行政とのかかわり」(74.1%)が強く、「他の市民団体」(57.4%)、「自治会などの地域の団体」(42.3%)の順となっている。
- ・ 仲間内の活動を行う団体では、全般的に社会的な活動を行う団体より他の団体とのかかわりが少ないが（半分程度）、内訳としては「他の市民団体とのかかわり」が強い（30.0%）。



ネットワークの必要性について

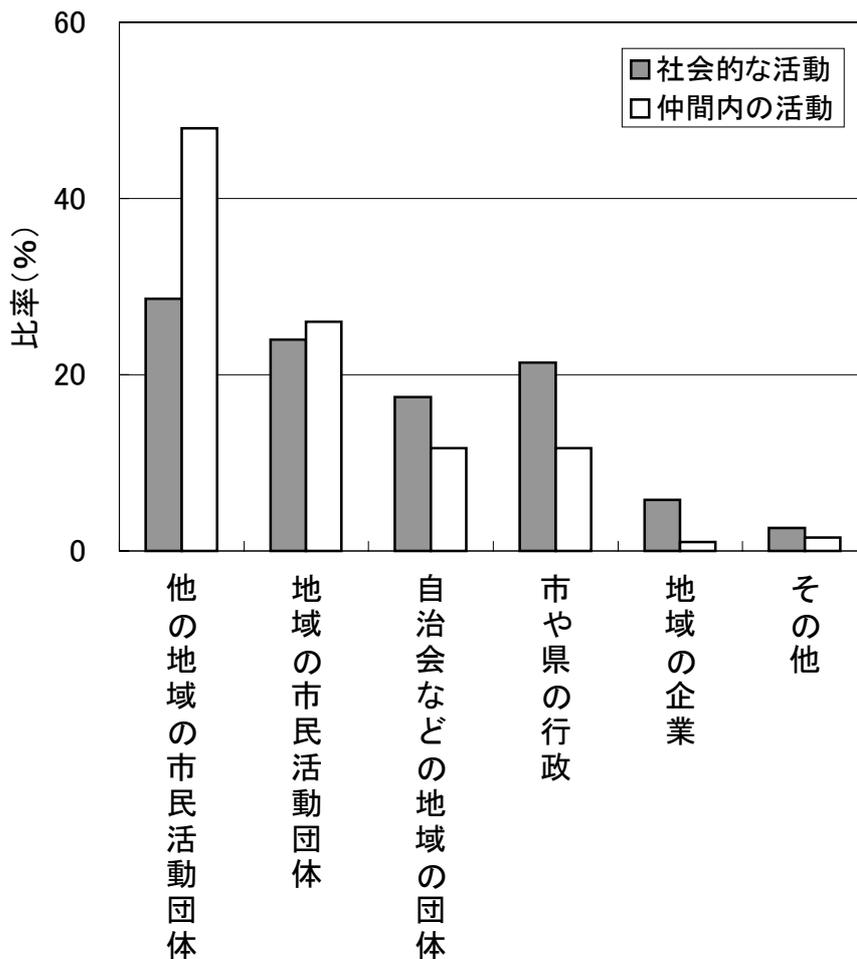
- ・ 社会的な活動を行う団体では、57.0%が「はい」と回答し、「いいえ」の 7.9%を大きく上回っている。
- ・ 仲間内の活動を行う団体では、「はい」は 24.7%で、社会的な活動団体より交流を必要としていない比率が高い。

図7 他の団体とのネットワークの必要性



他団体とのネットワークについて

- ・ 「他の地域の市民活動団体」、「地域の市民活動団体」を合わせると、社会的な活動団体では52.6%、仲間内の活動団体では74.0%となり、同様の活動をしている団体との交流を進めたい意向が強いことを示している。
- ・ それ以外では、社会的活動団体では、「市や県などの行政」(21.4%)、「自治会などの地域の団体」(17.5%)、「地域の企業」(5.8%)の順で、社会的な活動では、行政との関係を強化することを望む傾向がある。
- ・ 仲間内の活動団体では、「自治会などの地域の団体」「市や県の行政」が同数(11.7%)で、「地域の企業」は少ない。



団体間のネットワークのための有効な手段

- ・ 社会的な活動、仲間内の活動とも同じ傾向で、最も多かったのは、「行政の情報誌など」で、「イベント・交流会」、「関連団体の情報誌」などが続いている。
- ・ 現状では広報やまとはが重用され、市民活動のネットワークにおいては、インターネット等は十分に活用されていないことがわかる。

図2. 6. 3 団体間のネットワークには、どのような手段が有効であるか

